

令和5年2月

令和5年島根県コンクリート診断士会新春研修会

標記研修会について下記のとおり実施したので報告します。

1. 開催日時：令和5年2月11日（土）13：00～16：30
2. 場所：松江テルサ 大会議室
3. 参加人数：41名
4. 研修プログラム

【開会挨拶】

島根県コンクリート診断士会 松浦 寛司 会長

【研修】

(1) 13:10～14:10

演題「道路メンテナンスの今日的課題と今後の方針」

国土交通省中国地方整備局 道路部 道路保全企画官 梅田 俊夫 様

(2) 14:20～15:20

演題「橋梁維持管理システム（BMS）の概要及び活用」

(株)IHI インフラシステム LCB・DX 推進室 LCB 推進部

ビジネス推進グループ 西口 浩之 様

(3) 15:30～16:30

演題「コンクリート構造物内部の鋼材破断を磁気センシングと

IoTで検出する非破壊検査技術（Senri ganN）」

コニカミノルタ株式会社

ビジネスイノベーションセンタージャパン 森田 博 様

5. 講習状況

新型コロナウイルス感染対策として、入場前の消毒や検温、座席間の距離確保などの基本的な感染対策を行いました。

祝日にもかかわらず41名の参加者があり、熱心な講習会となりました。

【開会挨拶】

島根県コンクリート診断士会の松浦会長から、生コンクリートの戻りコン対

策として、A I を活用した戻りコンの可視化技術や今年度予定される道路橋示方書の改訂についてお話がありました。

【講演】

(1) 「道路メンテナンスの今日的課題と今後の方針」

国土交通省中国地方整備局の梅田保全企画官より、道路メンテナンスの今日的課題と今後の方針と題して講演がありました。

自治体ごとの橋梁の修繕措置等の実施状況等の説明があり、この中で地方自治体では修繕が進んでおらず、これまでの予算水準では予防保全への移行までに今後約20年必要とのお話がありました。

(2) 「橋梁維持管理システム（BMS S）の概要及び活用」

(株) I H I インフラシステムの西口様から、橋梁維持管理システムの概要説明がありました。

このシステムは自治体を中心に導入されているとのことですが、システム導入による効果としては、点検データ、補修設計データ、補修工事データをひも付けし一括管理することで、情報収集の労力削減や仕様の仮設計画を見直したことによる仮設費用の低減実例や工事積算方法、仮設足場計画時の工夫について紹介されました。

(3) 「コンクリート構造物内部の鋼材破断を磁気センシングと IoT で検出する非破壊検査技術（SenrigaN）」

コニカミノルタ(株)の森田様から、コンクリート構造物内部の鋼材破断を検出できる非破壊検査技術について紹介がありました。

本非破壊検査技術は、構造物の特徴（鋼材の太さ、部材の種類等）に合わせて漏洩磁束法と磁気ストリーム法を使い分けて破断を検出するものであり、今後はA I による波形判読とレポート作成の自動化を検討しているとのことでした。



講習会状況

以上